

令和7年度 第50回関東中学校柔道大会要項

- 1 目 的 関東中学校体育大会は、中学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上と、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成する。また、スポーツの交流を通じて各都県間の親睦を図り、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。

- 2 主 催 関東中学校体育連盟 茨城県教育委員会 日立市教育委員会
(申請予定) 関東柔道連合会 (公財) 東京都柔道連盟 茨城県柔道連盟

- 3 主 管 茨城県中学校体育連盟

- 4 後 援 茨城県学校長会 (公財) 茨城県スポーツ協会 (公財) 日本武道館
(申請予定) 茨城新聞社

- 5 期 日

【令和7年8月6日(水)】

- (1) 開場 9:00
(2) 選手受付、計量および柔道衣検査

都県名	受付時間	計量及び柔道衣検査
茨城・栃木	9:30～	10:00～10:45
埼玉・東京	10:15～	10:45～11:30
千葉・群馬	11:00～	11:30～12:15
山梨・神奈川	11:45～	12:15～13:00

- (3) 審判会議 13:15～14:00
(4) 監督会議 14:15～15:00

【令和7年8月7日(木)】

- (1) 開場 8:00
(2) 開会式 9:00～9:20
(3) 男女個人戦 9:30～15:30
(4) 表彰式 16:00～16:30

【令和7年8月8日(金)】

- (1) 開場 8:00
(2) 男女団体戦 9:00～14:00
(3) 閉会式 14:20～15:00

- 6 会 場 『日立市市民運動公園 「池の川さくらアリーナ」』
〒316-0034 茨城県日立市東成沢町2丁目15番1号
TEL. 0294-35-0767

- 7 参加資格

- (1) 各都県中学校体育連盟加盟校に在学し、関東中学校体育大会の参加資格を得た者とする。参加する生徒は、学齢・修業年限が一致していること。ただし、その年度の6月30日までに、都県中学校体育連盟を通じて(公財)日本中学校体育連盟に申し出、承認を得た生徒についてはこの限りではない。

- (2) 同一年度の夏季大会参加については、全競技を通じて一人1競技のみとする。
 - (3) 拠点校部活動の大会参加については、「関東中学校体育大会拠点校部活動参加規程」により、参加を認める。
 - (4) 関東中学校体育大会の参加を認める「参加資格の特例」
 - ① 学校教育法134条の各種学校（1条校以外）に在籍もしくは地域クラブ活動に所属し、各都県中学校体育連盟の予選大会に参加を認められた生徒であること。
 - ② 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ア 関東大会の参加を認める条件
 - (ア) 関東中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 参加希望する学校にあつては、学齢・修業年限が一致していること。連携校との生徒による混成は認めない。
 - (ウ) 各学校・地域クラブ活動にあつては、活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある教員・部活動指導員・外部指導者・地域クラブ活動の指導者のもとに適切に行われており、運営が適切であること。
 - イ 関東大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 関東中学校体育連盟大会要項及び規則を遵守するとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 大会参加にあつては、万一事故の発生に備え、傷害保険等に参加するなど万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会に参加する経費は、当該校・地域クラブ活動が負担すること。
- ※ この特例は、令和5年4月1日より適用する。
- (5) 地域クラブ活動の参加細則を以下のように定める。
 地域クラブ活動の大会参加についての細則は、「令和7年度日本中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例競技部細則」における柔道競技に準ずる。

8 参加費およびプログラム代

- (1) 参加費：参加選手一人につき、3,000円
 プログラム代：参加選手一人につき、1,500円
 （団体、個人重複選手については1名分）
- (2) 参加費・プログラム代の徴収方法
 各都県委員長が参加選手分をとりまとめて一括して納入
 （納入先）金融機関名 常陽銀行 ひたちなか支店（普通）
 第50回関東中学校柔道大会実行委員長 鎮目 英俊

9 引率・監督

- (1) 参加選手の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員、地域クラブ活動の代表（指導）者とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書（校長承認書）」様式6-1に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
 ※「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
 ※ 部活動指導員の規定は平成30年4月1日から施行する。
- (2) 校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合「関東中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。外部指導者が引率・監督を務める場合は、所定の「外部指導

者確認書（校長承認書）」様式6—2に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。

※ 外部指導者」は、「関東中学校体育大会監督・引率細則」(10)外部指導者の規程の条件を満たしている者とする。（地域クラブ活動）は該当しない。）

(3) 監督・引率の特例

関東中学校体育大会の個人種目への生徒参加について、日常指導している校長・教員・部活動指導員・校長が承認した外部指導者が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「関東中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が引率者として承認した保護者の引率を認める。ただしその場合は、当該の校長は当該中学校体育連盟と協議し、様式2、3、4、5をもって監督依頼をしなければならない。（地域クラブ活動は該当しない。）

(4) 関東中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であること。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。外部指導者は校長から暴力等に関する指導処置を受けていないこと。

10 外部指導者

当該校の学校長が認めた外部指導者がいる場合は、ベンチに入ることができる（1名）。同一校においては団体、個人にかかわらず同一の外部指導者とする。ただし、男女が別々に活動しており、それぞれに外部指導者がいる場合はそれぞれに1名ずつ認められる。ただし、外部指導者規定を遵守し、これに従わない場合は退場になることもある。

11 ベンチ入り

ベンチ入りができるのは、1校につき監督1名と外部指導者または副顧問1名の計2名までとする。9の（2）の特例による参加の場合は、委任監督がベンチ入りすることを原則とし、加えて外部指導者のベンチ入りを認める（1名）。ただし、保護者及び他校外部指導者、見学者のベンチ入りは一切認めない。

12 参加者

(1) 団体戦

チーム編成は体重の重いものを大将とし、以下体重順に編成し、試合毎に選手の位置を変えることはできない。補欠選手に繰り入れた場合も、順次体重順とする。また一度退いた選手は、再出場できない。

① 男子団体戦

- ・ 各都県からそれぞれ4チーム〈1校単位で編成〉の計32チーム
- ・ チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内

② 女子団体戦

- ・ 各都県からそれぞれ3チーム〈1校単位で編成〉の計24チーム
- ・ チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内

※「コーチ」とは、外部指導者及び副顧問とする。

(2) 個人戦

① 男子個人戦

- ・ 各都県から8階級それぞれ3名 計192名

- ・ 体重区分は 50kg 級、55kg 級、60kg 級、66kg 級、73kg 級、81kg 級、90kg 級、90kg 超級の 8 階級とする。
- ② 女子個人戦
 - ・ 各都県から 8 階級それぞれ 2 名 計 1 2 8 名
 - ・ 体重区分は 40kg 級、44kg 級、48kg 級、52kg 級、57kg 級、63kg 級、70kg 級、70kg 超級の 8 階級とする。

13 競技規則

(1) 審判規程

- ・ 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」、「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定事項を含める。
- ・ 試合時間は、団体戦・個人戦ともに 3 分間とする。

(2) 勝敗の判定基準

優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則勝ち」＞「技あり」＞「有効」＞「僅差」

① 団体試合

- ・ 団体試合においては、「有効」以上又は、「僅差（指導の差 2 以上）」とする。ただし、代表戦における延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ・ 選手変更については、既に登録してある選手 6・7（選手 4）から補充し、新たに補充する選手を選手 6・7（選手 4）に再登録をする。ただし最初から選手 6・7（選手 4）の登録をしていない場合は、この限りではない。

② 個人試合

- ・ 個人試合においては、「有効」または「指導」の差 2 以上とし、本戦で同等の場合は時間無制限のゴールデンスコア方式によって必ず勝敗を決する。

(3) 脳震盪対応について

選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

- ① 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

14 競技方法

(1) 団体戦

- ① 団体戦は男女ともトーナメント形式の団体対抗戦得点法で行う。
- ② 試合の勝敗は次の順によって決定する。
 - ア 勝ち点の数により決定する。
 - イ 勝ち点が同数のときは、内容により決定する。
 - ウ 内容も同数の時は、任意の選手による代表戦によって決定する。
- ③ 3 位決定戦は行わない。

(2) 個人戦

- ① 個人戦は男女ともトーナメント形式個人試合法で行う。
- ② 3位決定戦は行わない。

15 表彰

(1) 団体戦

- ・第1位より第3位までを表彰する。なお、第1位より第3位までの入賞チーム以外のベスト8入賞チームに敢闘賞を授与する。

(2) 個人戦

- ・第1位より第3位までを表彰する。

16 申込方法

各都県委員長が一括してメールにて下記のアドレスに提出し申し込みを行う。

- (1) メール申込期日 令和7年7月31日(木) 12:00まで
正式申込期日 令和7年8月1日(金)
メールアドレス kobayashi.kazuma@purple.ibk.ed.jp

(2) 申込問い合わせ

〒306-0624

茨城県坂東市矢作326

坂東市立南中学校内 「小林 一真 宛」

TEL 0297-38-2602 FAX 0297-38-0557

(3) 申込方法

- ・個人戦申し込み及び、団体戦の出場校連絡は、電子メールでなるべく早めに報告をお願いします。
- ・各出場校用申込用紙は、漏れがないかをよく確認した上で、各都県委員長が一括して8月1日まで上記に郵送、または1日の組み合わせ抽選会に持参をお願いします。(個人情報の取扱について、同意の有無の確認をお願いします。)

※申し込みが遅れた場合には、プログラムに名前等掲載できない場合もあるので期限厳守をお願いします。

(4) 選手変更

団体戦・個人戦とも、所定の申込用紙を提出後、病気・負傷、感染症などの理由で選手変更する場合には、以下の書類を8月6日(水)の受付時(9:30~11:00)までに各都県委員長に提出し、手続きを取ること。なお、新たに出場することになった選手の参加費はその場で徴収し、欠場となった選手の参加費は返金しない。

① 団体戦

- ・登録選手変更届(様式7-1または7-2)
(理由は具体的に記入する。当日は登録選手との交替とする。)

② 個人戦

- ・登録選手変更承諾書(様式8)
- ・辞退届(様式9)

※都県のチームの変更について、当該委員長は以下の書類を8月6日(水)の委員長会議に提出すること。

- ・登録選手変更届(様式10)

17 宿泊申込

宿泊要項を別に定め、出場者それぞれで申し込む。

※詳細は宿泊要項参照。

※宿泊、弁当の手配は適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため

に、関東中体連の規約に基づき、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。（指定外の宿泊の利用は、原則として認めません。）

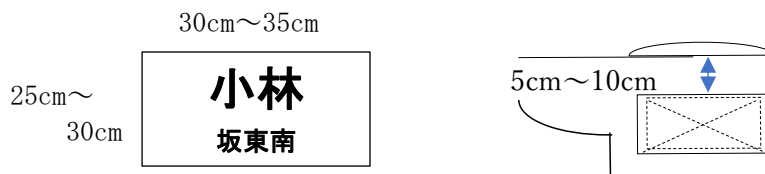
- 18 組み合わせ 各都県委員長参加のもと「組み合わせ抽選会」実施する。
(1) 期日 令和7年8月1日（金） 11：00～
(2) 会場 日立市市民運動公園 池の川さくらアリーナ 第2・3会議室
※会議当日の18：00頃、大会ホームページ上に掲載予定。

19 会議等

- (1) 期日 令和7年8月6日（水）
(2) 会場 池の川さくらアリーナ
① 委員長会議 …会議室1
② 計量及び柔道衣検査 …メインアリーナ
③ 審判会議 …会議室2・3
④ 監督会議 …会議室2・3
(3) 時程
① 委員長会議 …11：00～12：00
② 計量及び柔道衣検査 …ア 10：00～10：45（茨城・栃木）
イ 10：45～11：30（埼玉・東京）
ウ 11：30～12：15（千葉・群馬）
エ 12：15～13：00（山梨・神奈川）
③ 審判会議 …13：15～14：00
④ 監督会議 …14：15～15：00

20 その他

- (1) 本大会にはIDカード着用を義務づけ、これがない者は試合場に入場することができない。（来賓・監督・選手・審判員・視察員含む）選手がIDカードを紛失した場合は、再発行しない。このような場合は監督が常に選手に帯同して試合会場や練習会場に移動しなければならない。
(2) 本大会期間中における参加者の負傷などについては、学校教育活動の範囲内であるので「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」の適用となる。なお、保護者引率の場合については、保護者の責任において任意の保険に加入すること。
(3) 監督ならびにコーチは、ベンチ席やその周辺でのビデオ撮影、写真撮影を行わない。
(4) 出場選手（補欠を含む）は下記のようなゼッケンを着用しなければならない。（ゼッケンについては、全国大会に準ずる。）



- ① 布地は白色、サイズは縦25cm～30cm 横30cm～35cmとする。
② 書体は太字ゴシック体（明朝又は楷書でも良い）とし、男子は黒色、女子は赤色とする。
③ 名字（姓）は上側3分の2、学校名は下側3分の1に書く。
④ 縫い付けの場所は後ろ襟から5cm～10cm、対角線にも強い糸で縫い付ける。（ミシン縫いであること）

(5) 上衣左胸部の表示として認めるものは、以下の通りとする。

- ① 所属する中学校・地域クラブ活動名
- ② 所属する中学校・地域クラブ活動を象徴するマーク

※所属と異なる団体の胸刺繍の入った柔道衣は認めない。

(6) 出場選手（補欠を含む）の計量と柔道衣の点検について。

- ・計量は時間内計量とし、個人戦については計量の回数は問わない。
- ・団体戦、個人戦出場者のすべてが計量する。計量時間内に合格しない者は出場できない。
- ・柔道衣点検も上記と同様とする。
- ・(公財) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上着、下穿、帯）を着用すること。認証ラベルの色は、IJF ラベルは赤、全柔連認証番号ラベルは赤とする。
- ・女子選手の黒帯は、白線なしとする。

21 連絡先

(1) 大会開催前日まで（各都県委員長を通して連絡をお願いします。）

令和7年度第50回関東中学校柔道大会実行委員会事務局

〒306-0624 茨城県坂東市矢作326

坂東市立南中学校内 小林 一真 宛

TEL 0297-38-2602 FAX 0297-38-0557

(2) 大会開催中

『 日立市市民運動公園 「池の川さくらアリーナ」 』

〒316-0034 茨城県日立市東成沢町2丁目15番1号

TEL. 0294-35-0767

22 大会ホームページ <https://jhskantojudoibarak.wixsite.com/home>